

ID No.	121
研究課題名	p53 が発現制御する非コード RNA ネットワークの基盤構築
研究代表者	時野 隆至 (札幌医科大学・教授)
研究組織 受入教員 研究分担者	宮野 悟 (東京大学医科学研究所・教授) 佐々木 泰史 (札幌医科大学・准教授) 井戸川 雅史 (札幌医科大学・講師)
研究報告書	
<p>宮野悟研究室と共同開発したp53結合モチーフ認識アルゴリズムを利用して、全ヒトゲノム配列探索により約64万のp53モチーフを同定した。アデノウイルスベクターでp53を発現させた肺癌細胞H1299における次世代シーケンサーを用いたクロマチン免疫沈降解析 (ChIP-seq) によるピークと重複するものが20.0%であった。その内約半数は遺伝子間に存在することから、遺伝子介在性非コードRNA (lincRNA) がp53の標的となっている可能性が高いと考えられた。</p> <p>データベースに登録されている約14000のヒト lincRNA のうち、その上下流10kbにp53モチーフと重複するChIP-seqピークを持つlincRNAを抽出した。qRT-PCRにより発現解析を行ったところ、22のlincRNAがp53の転写標的として同定し、この研究成果を <i>Human Molecular Genetics</i> に発表した。現在、これらのlincRNAについて機能解析を進めているところである。</p>	